



上小っ子

上小の目指す授業 一人一人を大切に協働する全員参加の授業！

本校の本年度の学校経営方針「一人一人を大切に協働すること」は、授業づくり・学級づくりにおいて、各学級・学年で具体化に努めています。本校の教職員による校内研究活動では、ICTの利活用を図り、「個別最適な学び(自分でがんばる学び)」と「協働的な学び(みんなでがんばる学び)」の一体的な充実を図ることによって、自立した学習者を育てる授業づくりにチャレンジしています。9月9日(金)には、南・北都留地区の初任者も参加し、6年2組の武原恵美子教諭の学級活動の研究授業及び授業研究会を行いました。

運動会に向けた「みんなの力になる青組のスローガンを考えよう」を議題に、学級会を行いました。子どもたちは、一人一人が考えること・みんなで考えることを支援する2種類の「思考ツール」を用いて話し合いを行いました。小グループでの話し合い場面では、一人1台端末でダイヤモンド型の思考ツールを活用し、白熱して話し合う様子が見られました。全員で話し合う場面では、ピラミッド型の思考ツールを用いて、どの言葉がみんなの力になるのか、一つ一つの言葉に対する思い・願いを表現し合い、考えが深まっていく様子が見られました。

本校は、ICTを活用し、一人一人を大切に、全ての児童が主体的に対話的に学び合い、高め合う授業づくりにチャレンジしています。



2年生 秋の遠足 帝京科学大学の連携・協力による学習支援！

2年生は、9月12日(月)に多摩動物公園に秋の遠足に出かけました。多摩動物公園内では、子どもたちは班行動を行いました。当日は、帝京科学大学の動物介在教育研究部の学生22名、同大学教授の花園誠先生が支援してくださり、学生さんが動物の先生としてそれぞれの班についてくれました。学生さんは、動物についてクイズを出したり、わかりやすく解説してくださったりして、動物の知識が豊かになるばかりでなく、動物を愛する心・命を大切に作る心(動物愛護の心)も一層高まったと思います。帝京科学大学との連携・協力によるこの取組は2005年より始められました。上野原小が子どもたちにとってさらに魅力ある学校にしていくために、今後も帝京科学大学との連携・協力、地域の教育資源を活用した学校づくりを進めていきたいと思ひます。



あいさつ運動 自分も友だちもさわやかな気持ちになるあいさつ！

8・9月の児童会の生活目標は「大きな声で相手の目を見て笑顔であいさつしよう」です。相手に自分から心を開き、元気なあいさつをすると、自分も友だちもさわやかな一日のスタートをきることができます。

そこで、9月5日(月)から児童会本部・4年生以上の代表委員の子どもたちが登校する友だちに率先してあいさつを働きかけています。児童会本部・代表委員のあいさつをモデルに、自分も友だちもさわやかな気持ちになるあいさつが全校に広がってほしいと思ひます。あいさつをとおして、元気に、なかよく、楽しい学校生活を全校でつっていききたいと思ひます。

